

### 25期 第13回役員研修会報告 11月11日(金)-12日(土)・於:東京教会

… 一同に会する恵みに感謝して、取り組むべき方向性を協議・確認しました …

#### ▶ 研修会スケジュール

第1日	第2日
9:15 開場	9:30 開場
9:30 ①合同役員会 @1階集会室 連盟役員・各教区会長 祈り/徳弘・立野	9:45 朝の礼拝/祈り @2階礼拝堂 ・司式/説教 松本牧師 奏楽/立野 アコライト/東海教区 磯村
12:30 受付開始 @1階ロビー受付 ・12:50迄に2階へ参加者を 誘導※遅刻参加者の対応	10:00 ⑤講演 @2階礼拝堂 ・徳弘牧師 多文化共生と課題 Q&A
13:00 開会礼拝 @2階礼拝堂 ・司式/説教 平岡牧師 奏楽/立野、祈禱/徳弘・廣瀬 アコライト/西教区 佐々木 献金祈り&献金籠/九州教区 荻野、献金籠/東教区 島田 ※献金 連盟指定+神学校	11:25 1階へ移動 @1階集会室 11:30 昼食 祈り/立野 ※連盟より弁当 ※中原(挨拶)
13:30 挨拶 @2階礼拝堂 ・会長/八木、副会長・書記/ 徳弘、会計/立野、広報/廣瀬 事務局/富里(中原)、連盟担当 /平岡牧師 オリエンテーション ・八木 ※時間調整	12:30 ⑥今後の方向性検討・確認 ◎女性会連盟のあり方 ◎研修会(提案事項含)まとめ ◎26回総・大会(2024年6月) ※開催地、実行委員会、スケジュー ルほか
13:40 1階へ移動&休憩	15:15 2階へ移動&休憩
13:50 自己紹介 @1階集会室 ②各教区全役員:会長/副会長 /書記/会計/文書、各協力委員 ※冊子参照 ※時間調整	15:25 閉会礼拝 @2階礼拝堂 ・司式/八木 連携/各教区会長 奏楽/立野、聖書朗読/廣瀬 ※アコライト/九州教区 深町
14:10 各教区 役割担当者/活動報告	15:45 後始末・確認
15:10 役割担当ごとの課題確認・協 議・発表	16:00 終了・解散 ※お疲れさまでした 帰路が守られますように
16:10 ③サバ神学院支援プログラムの 協議 ※「支援から交流へ」	
17:30 ④ルーテル神学校の現状 説明 ・河田チャプレンZoom	
18:00 一日目終了 祈り/八木 ※簡単な纏め・明日の確認	
18:30 退館 ※夕食会/自由参加	

\*全役員と関係各位、会場/東京教会、IT配信/むさしの教会のご理解、ご協力に感謝いたします。

#### ▶ ①合同役員会/各教区会長

2022年11月開催の拡大役員会に  
続き、1年後に開催された本研修会  
の前段階として計画された「各教区  
会長・連盟役員による合同役員会」で  
は、各自が所属する教区からの課題  
共有が行われた。※詳細はひびき53  
号ご参照、以下抜粋。

- 役員会—  
対面/Zoom/Lineで開催。
- 集いの開催について—  
〈東〉ハイブリッド形式で第3回春の  
会長会&女性の集い@むさしの教会、  
第4回秋の女性の集い@東京教会。  
〈東海〉10月会長会@浜松教会。  
〈西〉9月はなみずきの集い@広島教会。  
〈九州〉9月会長会・修養会@博多教会。
- 会報—

#### ▶ 参加者

- 〈牧 師〉連盟/平岡 仁子(保谷)・礼拝/  
松本 義宣(東京)・講演/徳弘 浩隆(高蔵  
寺)案内/河田 優(ルーテル神学校)\*
- 〈東教区〉会長/神庭 靖子(飯田)・副会長  
/島田 洋子(東京)・書記/牧野 正子(湯河  
原)・会計/滝沢 峰子(蒲田)\*
- 〈東海教区〉会長/金高 美江子(栄光・藤  
枝)・書記/磯村 和子(知多)・会計/渡邊  
直美(浜松)\*
- 〈西教区〉会長/三輪 真理(広島)・副会長  
-会計/佐々木 待子(下関)・書記/榎田 明  
子(下関)
- 〈九州教区〉会長/榎津 直江(博多)・副会  
長-書記/深町 敦美(箱崎)・会計/荻野 千  
恵(箱崎)・文書/小林 涼子(八幡)
- 〈協力委員〉ACWC/岸田 多希子(田園調  
布)+新城 智恵美(日吉)・NCC/安田 や  
まと(都南)・“いつくしみ”-関西/粉山 昭  
恵(京都)+“いつくしみ”-関東/石飛 久  
子(捻台)\*・LWF/WICAS —
- 〈連 盟〉会長/八木 久美(むさしの)・副会  
長-書記/徳弘 由美子(高蔵寺)・会計/立  
野 照美(広島)・広報/廣瀬 美由紀(長崎)
- 〈事務局員〉富里 雪子(むさしの)+中原  
あゆみ(田園調布) ※上記(\* 印)参加者  
はZoom、書面にて出席。
- 〈IT/配信・収録〉猿田幸雄/八木高光/石原  
真由美(むさしの) \*敬称略



### 25期 第13回役員研修会報告 11月11日(金)-12日(土)・於:東京教会

… み言葉に聞き、賛美と祈りによって進められた2日間の恵み …

#### ▶ 礼拝・祈り・みことば

開会礼拝  
〈開会の歌〉  
聖公会聖歌集411番「心の女は」  
〈はじめの祈り〉  
神様。女性会連盟役員研修会を祝福  
してください。この二日間を通して、互  
いに耳を傾け、語り合ひ、女性たちが進  
み行く道を照らして下さる主の光を  
共に仰ぎ見ることが出来ますようにお  
導きください。救い主、主イエスキリ  
ストによって祈ります。

マルコ福音書16章6-7節「あ、行っ  
て弟子たちをペトロに知らせなさい。」  
1520年ルターの説教「墓の女性た  
ちから復活の知らせは天使と女性からで  
した。男性の弟子たちは女性たちがそ  
の言葉を伝えたことに衝撃を受けたの  
です。何と愚かな男たち…。女性こそ弟  
子であり、そして弟子は女性です。私  
もまた、愚かな弟子の一人です。しかし、  
主が私たち全てをお支えくださいまし  
て。ルターは時代的な制約を受け入れ  
つつ、女性が社会と家庭において発言す  
る正当性を十分に理解していたと言え  
ます。ルターは宗教改革という嵐の中で  
出会った女性たちと真摯に向き合い、そ  
の言葉に目を傾けました。その一人が、  
アルギユラ・フォン・グルムバッハです。  
ルターは、宗教改革女性運動家としてア  
ルギユラの闘志に敬意を払い、ルターに  
とってアルギユラは特別な神の僕、キリ  
ストの弟子だったので。マルコ16章7  
節の若者は女性たちと言います。彼女  
は女性たちがその言葉を伝えたことに  
衝撃を受けたのです。宗教改革は私た  
ちを、そして女性会連盟を再び、新たな  
扉の前に立たせてくれた「あ、行ってし  
よ。」

朝の祈り  
〈開会の歌〉  
「讚美歌」教会讚美歌増補(分冊1)16番  
「われらのみ神は、堅い城、力  
みことばは、神はわたしたちの避けご  
ろ、わたしたちの岩。(讃美46:1)」  
「教会賛美歌増補(分冊1)」の2021年  
刊には、ルターの代表的な賛美歌、お馴  
染みの「教会讚美歌450番」からなる  
神はわが強きやぐら」の新訳が、しかも  
当時のオリジナル旋律で歌えるように  
なっており、作者であるルターは、決  
してそんな歌として造ったのではない、  
といふことは意外と知られていません。  
彼がこの歌を造ったのは、1527  
28年頃、いわゆる宗教改革が始まって10  
年ほど経った頃です。今言えは「うつ状  
態、ふさぎ込み部屋に独り閉じ籠るよう  
な状況の中でした。ヴァッテンベルクは  
ペストの小流行があり、改革運動の困難  
悩みは尽きず、福音信仰の同士のレオンハ  
ルト・カイザーが殉教したという報せもあ  
りました。カトリック夫人の聖時ばかり大  
変な出産も近づいていました。そんな中、  
わたしたちの岩に支えられ、これにす  
がってこの詩編に基くこの歌を作りまし  
た。1529年、この歌が印刷された時に  
は慰めの歌といふ表題でした。彼自身の  
慰めのため、神にすがら思いついて、信仰  
について自分を慰め、立ち上がらせるため  
に歌ったのです。ですから、四分音符四拍子で力  
強く、まるで軍歌、歌うのではなく、是非  
オリジナル旋律で、しかももつとゆつたり  
と流れるように歌うことを、新集では提  
案したのです。

すよというのではなく、わたしの神、そ  
が、皆堅い城であり力だ、それほどに  
彼は神にすがっている。われわれの神に  
そ避けごころ、堅い城という思いなの  
です。教会450番、またかつての教団「讚  
美歌1954年版」267番、「讚美歌  
21077番は、多分元詩編に影響されて  
図に反し、多分元詩編に影響されて  
「わがやぐら、わが」としてとなつて  
いて、いわば「おせつかい誤訳」です。文法  
的に言えば、皆やぐらといふ言葉は不定冠  
詞(の)英語(a)で、沢山の可能性の  
ある中の一つ、へんげいの形容詞表現、つま  
り「岩のよう存在、岩のよう存在」と  
いった感じ。彼にとつて決定的なの  
はわたしたちの神、わがといふが、  
うな信仰です。皆やぐらにわたしたちの  
と付けるのは、信頼すべきものを取り違  
えた「偶像礼拝」的な理解になる。誤  
訳に関しては、1954年版と21の日本  
キリスト教団出版讚美歌には、決定的な  
間違いがありますが、それがルーテルの  
教会讚美歌450番は正されています。  
「わが」とは触れませんが、これは当  
クイズ。また、今回の増補版は、かな  
りルター先生の意図を生かした苦心の翻  
訳になったかどうかが…です。真の慰  
めは「われらの神」のみ、その思いと信仰を  
確認しましょう。

閉会礼拝  
〈みことば〉  
ローマの信徒への手紙12章9節-15節  
「愛には偽りがあってはなりません。  
悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をも  
って互いに愛し、尊敬をもって互いに相手  
を優れた者と思いなさい。怒りや励み、  
霊に燃え、主に仕えなさい。希望をも  
って喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈  
りなさい。聖なる者たちの貧しさを自分の  
ものとして彼らを助け、旅人をもてなす  
ように務めなさい。あなたがたを迫害す  
る者のために祝福を祈りなさい。祝福を  
祈るのであって、呪ってはいけません。  
喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きな  
さい。」

〈祈り〉  
司式(祈り)。  
恵みの神様。女性会連盟役員研修会をお  
導きください。感謝します。  
私たちが共に祈り合ひ、支え合ひ、励ま  
し合ひ、主と隣人に仕えることができ  
ますように女性会リーダーたちを祝福し  
てください。

各教区会長の祈禱  
会衆(主)の祈り。  
〈結びの祈り〉  
司式(愛と正義の神様。あなたは独り子、  
主イエスキリストのみ言葉によって、私  
たちの人生を照らしてください。私  
たちに光を照らし、隣人の困難に目覚めるこ  
とができますように私たちをお導きくだ  
さい。そして、終わりの日の世界中の人々  
が、あなたの祝宴に与ることができま  
すように。私たちの主イエスキリストの  
み名によって祈ります。

会衆(アーメン)  
〈派遣の言葉〉  
司式(行きまじよう。主の平和のうちに、  
仕えまじよう。主と隣人に。  
会衆(私)は行きまじよう。  
神の助けにまじよう。